

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587046501	科目番号 / Course code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14341_005		
授業科目名 / Course title	文化の交流と共生 (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto, 李 偉		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	南 誠 / Minami Makoto, 李 偉		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lsk-minami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	必ず事前にメールで連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	最終レポート(50%)、授業および討論への参加度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	グローバル化、国際移民、エスニシティ、ディアスポラ、社会的包摂と排除、多文化共生、境界文化、歴史記憶、東アジア共同体		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大事です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロ
第2回	映画で考える人の移動
第3回	グローバル化時代における人の移動とアジア
第4回	国民国家と国際移民
第5回	人の移動へのアプローチ
第6回	日本と長崎をめぐる人の移動
第7回	日本人の海外移動と景観?@
第8回	日本人の海外移動と景観?A
第9回	アジアにおける人の移動と歴史記憶
第10回	アジアにおける人の移動と言語・文化
第11回	多みんぞくニホンのかたち
第12回	境界文化のポリティクス
第13回	地域社会と移民コミュニティ
第14回	他者との共生
第15回	総括
第16回	試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587063901	科目番号 / Course code	05870639
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15691_005		
授業科目名 / Course title	文化の交流と共生 (文化人類学でみる世界と日本) / Anthropology for Cross-Cultural Understanding		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi, 南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi,		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hosoda nagasaki-u.ac.jp v (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	今を生きる私たちには、世界の様々な文化を背景にもつ人たちと交流し、ともに暮らすことが求められています。この授業では、異なる文化というときの文化とは何か、その基本を学ぶとともに、異なる文化を理解しようとする方法についても学びます。自分が慣れ親しんだ考え方からいったん離れて現実をとらえなおし、それを基にして新たな考え方が展開できるようになる力をつけましょう。授業の前半では、文化人類学的な見方から人間と文化について説明します。後半では、文化人類学の中心的な方法であるエスノグラフィー (民族誌) という方法論を紹介し、実際にエスノグラフィーを書く練習をします。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 異文化理解につながる知識を習得します。(2) 質的研究で重要なエスノグラフィーを書く手法の基本を身につけられます。(3) エスノグラフィーを書くことによって、調査対象について新たな見方ができるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業参加 (毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントシートの内容) 50点、授業中に行う小テスト20点、最終試験 (あるいは最終レポート) 30点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	出席と予習復習 (内容は授業中に指示)。小テストや最終試験 (あるいはレポート) のための準備。		
キーワード / Keywords	人間と文化、多様性と他者理解、エスノグラフィー		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書はない。授業中に必要な資料を配布する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業では受講生それぞれが感じる不思議や違和感について聞いていきます。自分の常識と違うと感じたことをメモしておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	文化とは何か
第3回	文化の多様性と交流
第4回	自文化と異文化
第5回	文化相対主義
第6回	異文化交流の意義 ( 1 )
第7回	異文化交流の意義 ( 2 )
第8回	異文化交流の意義 ( 3 )
第9回	エスノグラフィーという方法
第10回	エスノグラフィーの例 ( 1 )
第11回	エスノグラフィーの例 ( 2 )
第12回	エスノグラフィーを書く ( 1 )
第13回	エスノグラフィーを書く ( 2 )
第14回	エスノグラフィーを書く ( 3 )
第15回	まとめ
第16回	定期試験 (または最終レポート)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/21		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587064101	科目番号 / Course code	05870641
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15701_005		
授業科目名 / Course title	文化の交流と共生 (国際関係論) / Introduction to International Relations		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NURGALIYEVA LYAILYA, 南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化・教育・経済・医学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lyailya.nurgaliyeva@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5F助教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後或いは事前にメールで連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	複雑な国際関係を基礎的な概念と理論で把握し、現代の主要な国際問題(たとえば、平和、環境、難民、寛容など)を検討する。その背景にある歴史、文化、思想、経済の変化は国際関係の学際的な枠組みを作り上げる。安全保障、経済と社会のグローバル化、人権の擁護などを事例にして、国際関係の理解を目指す。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、複雑な現代国際関係を理解することと国際関係に関する基本的な判断力を養うことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終レポート *期間中に行うディスカッションも評価の対象とする *ディスカッションに参加するためには講義への出席が最低条件となる		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	新聞やテレビなど、いきかうニュースを整理し、理解する力をつけておくことは非常に大切です。ですから、国際関係論、国際政治学の基礎をしっかりと理解するために『中央公論』、『世界』などの雑誌を読む必要がある。		
キーワード/Keywords	平和と紛争、国際移民、国家、外交、グローバル化、人権、人間の安全保障、国家安全保障		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書1: 『現代国際関係学?歴史、思想、理論』 進藤榮一、有斐閣Sシリーズ、2001年 教科書2: 『現代国際関係論』 花井等、岡部達味、東洋経済新報社、2005年 教科書3: 『国際政治学をつかむ』 村田晃嗣 [ほか] 著、有斐閣、2015年		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	どなたでも受講可能です。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に行うディスカッションに積極的に参加することは非常に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：国際関係、グローバル化、人間
第2回	国際関係と歴史
第3回	国際関係の理論（リアリズム、リベラリズム、構成主義）
第4回	パワーと国益
第5回	対立と強調
第6回	外交
第7回	国際政治経済
第8回	現代国際問題
第9回	地域研究
第10回	人間と国際関係（1）人権
第11回	人間と国際関係（2）安全保障
第12回	人間と国際関係（3）経済発展と貧困の削減
第13回	世界の中の日本（1）歴史
第14回	世界の中の日本（2）現代
第15回	統括